

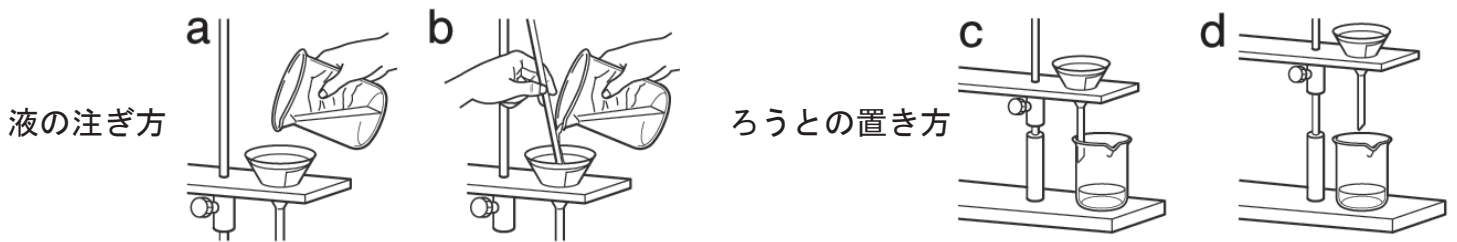
水溶液の性質 (3)

【1】次の文章の () に当てはまる言葉を書くか、○でかこみなさい。

- (1) 20℃の水 100g に食塩をとかしていくと、食塩は約 36g までとけるが、それ以上はとけなくなる。このように水にある物質がそれ以上とけることができなくなった状態を、(①) しているといい、その状態の水溶液を (②) という。
- (2) 100g の水に、ある物質をとけるだけとこかして、② を作ったとき、とけた物質の質量をその物質の (③) という。
- (3) 水の温度と物質の ③ の関係を表したグラフを (④) という。
- (4) 硝酸カリウムの ③ は水溶液の温度が下がると急激に (小さく・大きく) なるが、食塩の ③ は水溶液の温度が変わってもほとんど変化しない。
- (5) 硝酸カリウムの水溶液を冷却すると、とけきれなくなった硝酸カリウムが規則正しい形の (液体・固体) として出てくる。これを (⑤) という。
- (7) いったん水に溶かした物質を再び⑤として取り出すことを (⑥) という。
- (8) 水や酸素などのように、1種類の物質でできている物を (⑦) な物質という。
- (9) 砂糖水や空気などのように、いくつかの物質が混ざってできているものを (⑧) という。

【2】以下の問題に答えなさい。

(1) ろ過のやり方として、正しい方法を下の a~d の図から選び、記号を○でかこみなさい。



(2) ろ紙をろうとに密着させるために何をするか、ア~ウの中から正しいものを選びなさい。

- ア) 水でぬらす イ) しばらく置いておく ウ) ガラス棒でおす

【3】次の□の中のものを純粋な物質と混合物に分けなさい。

食塩 (塩化ナトリウム)、水、窒素、食塩水、ブドウ糖、
 空気、炭酸水、酸素、海水、硝酸カリウム、二酸化炭素

純粋な物質 ()

混合物 ()